



# 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年8月3日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社  
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO  
四半期報告書提出予定日 2023年8月3日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東  
TEL 03-3205-5111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	166,470	11.5	22,186	65.2	20,879	57.5	21,960	57.0	14,031	86.3
2023年3月期第1四半期	149,263	12.7	13,426	1.3	13,256	0.1	13,991	△0.1	7,530	△4.6

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円銭		円銭	
2024年3月期第1四半期	138.44		137.59	
2023年3月期第1四半期	73.83		73.40	

※既存事業コア営業利益について  
当社は2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を  
控除した指標です。

### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2024年3月期第1四半期	737,978		493,352		454,421		61.6	
2023年3月期	708,374		467,949		430,427		60.8	

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	65.00	—	75.00	140.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	80.00	—	80.00	160.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	710,000	6.1	64,000	6.3	57,500 ～60,500	3.3 ～8.7	42,500 ～44,500	△5.1 ～△0.6	419 ～439

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	102,861,500 株	2023年3月期	102,861,500 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,508,261 株	2023年3月期	1,515,187 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	101,352,391 株	2023年3月期1Q	101,990,723 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(報告企業) .....	11
(作成の基礎) .....	11
(重要性がある会計方針) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比11.5%増の1,664億70百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比65.2%増の221億86百万円、営業利益は前年同期比57.5%増の208億79百万円、税引前四半期利益は前年同期比57.0%増の219億60百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比86.3%増の140億31百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比9.3%増の1,631億77百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比58.9%増の213億28百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2024年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

## &lt;連結業績&gt;

(単位：百万円)

区分	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期	
	自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	金額	%
売上収益	149,263	166,470	17,207	11.5
既存事業コア営業利益	13,426	22,186	8,760	65.2
営業利益	13,256	20,879	7,622	57.5
税引前四半期利益	13,991	21,960	7,969	57.0
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,530	14,031	6,501	86.3

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「その他」に含めていた「ニッシンフーズベトナム CO., LTD.」について、「中国地域」に含めて記載する方法に変更しております。

以下の前年同期比較は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類、カップライス類が堅調に推移し、価格改定効果もあり、各カテゴリーとも前年同期比で増収となりました。カップめん類では、2023年2月に発売した「カップヌードル ねぎ塩」や2023年3月発売の「日清焼そばU.F.O. 爆盛バーレル」、2023年4月発売の「カップヌードル シンガポール風ラクサ」をはじめ、お客さまニーズを捉えた商品が順調に推移しています。袋めん類では、2023年3月に発売した「ゆでるからうまい! 日清のどん兵衛」等が売上を伸ばし、増収に寄与しました。カップライス類は、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調を維持しています。利益面では、増収による増益要因がありましたが、原材料価格上昇等によるコストアップ要因があり、減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比7.7%増の514億48百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比7.2%減の71億28百万円、営業利益は、前年同期比7.1%減の71億69百万円となりました。

## ②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、主力の「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」が好調に推移したほか、2023年3月に新発売した「ロカボNOODLESおいしさプラス」シリーズも貢献しました。

袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き好調に推移しました。

利益面では、増収による増益要因がありましたが、原材料価格上昇等により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比7.6%増の99億63百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比41.7%減の5億10百万円、営業利益は、前年同期比39.6%減の5億37百万円となりました。

## ③低温・飲料事業

チルド事業は、冷し中華群、焼そば群、パスタ群が伸長し、前年同期比で増収となりました。パスタ群では、新商品の「日清Spa王」が売上に大きく貢献しました。利益面では、原材料価格上昇等によるコストアップがあったものの、価格改定が奏功し前年同期比で増益となりました。

冷凍事業は、ラーメン類、うどん類が堅調に推移し、価格改定効果もあり、前年同期比で増収となりました。ラーメン類では「冷凍 日清まぜ麺亭」、「冷凍 日清中華」シリーズが好調でした。利益面では、原材料価格上昇等によるコストアップ要因があり、前年同期比で減益となりました。

飲料事業は、乳酸菌飲料である「ピルクル400」シリーズが好調に推移し、更に2022年9月に発売した“睡眠の質を改善し、疲労感を軽減する”「ピルクル ミラクルケア」がプラスオンとなり、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比14.0%増の232億13百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比168.0%増の26億98百万円、営業利益は、前年同期比164.6%増の27億6百万円となりました。

## ④菓子事業

菓子事業では、日清シスコ(株)は発売から60年を迎える「シスコーン」シリーズの販売やプライベートブランドが堅調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。ぼんち(株)は「ピーナツあげ」をはじめとした主力商品が好調に推移しましたが、原材料高騰等の影響により、前年同期比で増収減益となりました。また、(株)湖池屋においては「湖池屋ポテトチップス」シリーズや「スコーン」シリーズ等の主力商品に加え、「湖池屋プライドポテト」シリーズ等の高付加価値商品の販売が拡大し、前年同期比で増収となりました。また、利益面では上記販売の拡大に加え、国内外において順次実施している価格改定が奏功し、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比18.2%増の207億50百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比98.7%増の15億85百万円、営業利益は、前年同期比102.5%増の16億3百万円となりました。

## ⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた付加価値商品の提案強化や導入推進に加えて価格改定も寄与し、増収増益となりました。

売上については、米国で昨年8月に実施した価格改定後も底堅い即席めん需要が続く中、付加価値商品の販売強化に継続して取り組んだことで増収、ブラジルでは昨年8月より販売開始した「U.F.O.」は計画を超え好調に売上伸長も、一時的な生産設備の大型メンテナンスによる販売数量減に伴い減収となりました。

利益については、主要原材料等の各種コスト上昇が落ち着きつつあることや、価格改定による増収効果、為替影響等によりセグメント全体で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比15.2%増の344億33百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比398.4%増の62億75百万円、営業利益は、前年同期比391.4%増の62億63百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比7.2%増の320億63百万円となり、コア営業利益は、前年同期比366.2%増の58億69百万円となりました。(注4)

## ⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおりますが、中国大陸での景気回復遅れ、不動産市況の低迷、また若年層の失業率増加などにより消費マインドが低下しています。また、香港では、中国大陸からのインバウンド旅行者による消費拡大が期待されていますが、旅行者の回復に時間を要しています。こうした状況のもと、売上については、即席めんの販売量が伸び悩み前年同期比で減収となりました。利益については、原材料費は低下傾向にあったことや販売促進を継続しブランドイメージの向上に努めたものの、昨年の香港政府補助金による一過性の利益がなくなり、前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比5.5%減の148億59百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比14.0%減の12億95百万円、営業利益は、前年同期比25.4%減の13億91百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比7.6%減の145億23百万円となり、コア営業利益は、前年同期比15.3%減の12億75百万円となりました。(注4)

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比36.0%増の118億円、コア営業利益(注3)は、前年同期比145.7%増の33億85百万円、営業利益は、前年同期比154.0%増の33億99百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比29.2%増の112億13百万円となり、コア営業利益は、前年同期比114.3%増の29億52百万円となりました。(注4)

(注3) コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

(注4) 2024年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ296億4百万円増加し、7,379億78百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に営業債権及びその他の債権が67億60百万円、現金及び現金同等物が67億1百万円減少した一方、有形固定資産が179億69百万円、棚卸資産が88億92百万円、非流動資産のその他の金融資産が66億32百万円、持分法で会計処理されている投資が41億81百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ42億1百万円増加し、2,446億26百万円となりました。これは主に営業債務及びその他の債務が126億74百万円減少した一方、流動負債の借入金が91億19百万円、繰延税金負債が42億82百万円、未払法人所得税が22億円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ254億2百万円増加し、4,933億52百万円となりました。これは主にその他の資本の構成要素が171億24百万円、利益剰余金が67億79百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の60.8%から61.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	87,388	80,687
営業債権及びその他の債権	101,483	94,722
棚卸資産	57,187	66,079
未収法人所得税	2,092	3,520
その他の金融資産	10,770	11,969
その他の流動資産	7,240	10,053
流動資産合計	266,162	267,032
非流動資産		
有形固定資産	265,839	283,808
のれん及び無形資産	11,651	11,535
投資不動産	7,224	7,209
持分法で会計処理されている投資	87,538	91,720
その他の金融資産	51,022	57,654
繰延税金資産	13,737	13,786
その他の非流動資産	5,199	5,232
非流動資産合計	442,211	470,945
資産合計	708,374	737,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	140,346	127,672
借入金	12,948	22,068
未払法人所得税	4,474	6,674
その他の金融負債	5,007	5,623
その他の流動負債	21,981	20,396
流動負債合計	184,758	182,435
非流動負債		
借入金	23,272	24,082
その他の金融負債	14,850	16,188
退職給付に係る負債	5,092	5,114
引当金	484	513
繰延税金負債	9,418	13,701
その他の非流動負債	2,547	2,589
非流動負債合計	55,665	62,190
負債合計	240,424	244,626
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	43,585	43,624
自己株式	△11,431	△11,379
その他の資本の構成要素	34,003	51,127
利益剰余金	339,147	345,926
親会社の所有者に帰属する持分合計	430,427	454,421
非支配持分	37,522	38,931
資本合計	467,949	493,352
負債及び資本合計	708,374	737,978



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	149,263	166,470
売上原価	100,150	108,485
売上総利益	49,112	57,984
販売費及び一般管理費	37,081	40,223
持分法による投資利益	832	3,136
その他の収益	550	390
その他の費用	156	409
営業利益	13,256	20,879
金融収益	1,035	1,213
金融費用	301	132
税引前四半期利益	13,991	21,960
法人所得税費用	5,769	6,819
四半期利益	8,221	15,141
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,530	14,031
非支配持分	691	1,110
四半期利益	8,221	15,141
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	73.83	138.44
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	73.40	137.59

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	8,221	15,141
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	4,879	4,476
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△18	326
純損益に振り替えられることのない項目合計	4,861	4,802
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	87	△11
在外営業活動体の換算差額	7,428	11,728
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1,481	2,321
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	8,997	14,038
税引後その他の包括利益	13,858	18,841
四半期包括利益	22,080	33,982
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	19,475	31,531
非支配持分	2,604	2,451
四半期包括利益	22,080	33,982

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日 残高	25,122	49,862	△11,828	2,629	2,398	66	40,343
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	5,515	85	4,881
四半期包括利益合計	—	—	—	—	5,515	85	4,881
自己株式の取得	—	—	△6,295	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△11	24	△13	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	317	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△579	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△22,649
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△590	△6,271	303	—	—	△22,649
2022年6月30日 残高	25,122	49,272	△18,099	2,933	7,913	151	22,576

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2022年4月1日 残高	△215	45,221	299,281	407,660	36,930	444,590
四半期利益	—	—	7,530	7,530	691	8,221
その他の包括利益	1,463	11,945	—	11,945	1,913	13,858
四半期包括利益合計	1,463	11,945	7,530	19,475	2,604	22,080
自己株式の取得	—	—	—	△6,295	—	△6,295
自己株式の処分	—	△13	—	0	—	0
配当金	—	—	△6,146	△6,146	△1,572	△7,718
株式に基づく報酬取引	—	317	—	317	—	317
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△579	△756	△1,336
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	0	△22,648	22,648	—	—	—
その他の増減	—	—	12	12	△49	△36
所有者との取引額合計	0	△22,344	16,515	△12,691	△2,379	△15,070
2022年6月30日 残高	1,248	34,822	323,327	414,444	37,156	451,601

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	25,122	43,585	△11,431	2,933	6,655	33	20,796
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	10,396	△10	4,466
四半期包括利益合計	—	—	—	—	10,396	△10	4,466
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	52	△32	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	39	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△0	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	38	51	△32	—	—	—
2023年6月30日 残高	25,122	43,624	△11,379	2,900	17,052	23	25,262

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
2023年4月1日 残高	3,584	34,003	339,147	430,427	37,522	467,949
四半期利益	—	—	14,031	14,031	1,110	15,141
その他の包括利益	2,647	17,499	—	17,499	1,341	18,841
四半期包括利益合計	2,647	17,499	14,031	31,531	2,451	33,982
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△32	△19	0	—	0
配当金	—	—	△7,600	△7,600	△1,095	△8,696
株式に基づく報酬取引	—	—	—	39	—	39
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△0	△0	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△343	△343	343	—	—	—
その他の増減	—	—	25	25	52	78
所有者との取引額合計	△343	△375	△7,251	△7,536	△1,042	△8,579
2023年6月30日 残高	5,889	51,127	345,926	454,421	38,931	493,352

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記(セグメント情報)に記載しております。

(作成の基礎)

## (1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2023年8月3日に取締役会によって承認されております。

## (2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要性がある会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「その他」に含めていた「ニッシンフーズベトナム CO., LTD.」について、「中国地域」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

## (2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要性がある会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	47,791	9,257	20,354	17,561	29,899	15,720	140,584	8,678	149,263	—	149,263
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	415	1,326	179	89	9	553	2,574	9,139	11,714	△11,714	—
計	48,206	10,584	20,534	17,650	29,909	16,274	143,159	17,817	160,977	△11,714	149,263
セグメント利益 (営業利益)	7,714	889	1,023	791	1,274	1,865	13,558	1,338	14,896	△1,639	13,256
金融収益											1,035
金融費用											301
税引前四半期利益											13,991
その他の項目											
減価償却費	3,466	547	595	703	370	688	6,372	811	7,183	6	7,189
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	832	832	—	832
資本的支出	2,004	167	537	349	1,212	534	4,806	503	5,310	△3	5,306

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,639百万円には、セグメント間取引消去等△102百万円、グループ関連費用△1,537百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	51,448	9,963	23,213	20,750	34,433	14,859	154,669	11,800	166,470	—	166,470
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	346	1,531	186	121	12	777	2,974	9,930	12,905	△12,905	—
計	51,794	11,495	23,400	20,871	34,445	15,636	157,644	21,730	179,375	△12,905	166,470
セグメント利益 (営業利益)	7,169	537	2,706	1,603	6,263	1,391	19,671	3,399	23,071	△2,191	20,879
金融収益											1,213
金融費用											132
税引前四半期利益											21,960
その他の項目											
減価償却費	3,521	526	629	730	510	719	6,638	791	7,429	8	7,438
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,136	3,136	—	3,136
資本的支出	2,708	333	239	774	11,472	1,971	17,499	1,747	19,247	△42	19,204

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,191百万円には、セグメント間取引消去等△229百万円、グループ関連費用△1,962百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。